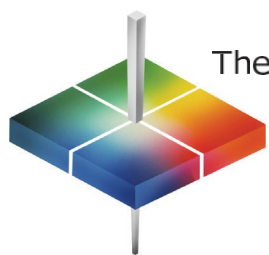


Agera[®] クイックスタートガイド

A60-1018-921 ver. 3.0



The world's true measure of color

HunterLab

A 装置のセットアップ

1. 箱から取り出す: Agera® を作業台の上に置きます。HunterLabへの機器返却に備えて、梱包材は保管しておいてください。
2. 装置底面にある輸送用ボルトのロックを解除してください。ボルトを反時計回りに回すには、プラスドライバーが必要です (約10回転)。



3. 電源の接続: 電源アダプターを機器の背面に差し込み、もう一方の端をコンセントに接続してください。



4. 電源の投入: 背面のロックスイッチを使用して、電源を入れてください。Essentials ソフトウェアが起動すると、カラーデータテーブル (Cdt) が自動的に表示されます。



注: Agera のデフォルト設定は、ポートが上向きの位置です。ポートを前方に向ける必要がある場合は、[Workspace] メニュー > [Preferences] に移動し、[Reverse Screen Orientation] にチェックを入れて、[Apply] をクリックしてください。

その後、Agera の電源を入れ直して、新しい画面の向きを反映させてください。

B 標準化

1. UVモードの設定: UVモードはステータスバーに表示されます。モードを変更するには、UVボタンをクリックしてUVモードを選択します。その後、「適用」をクリックします。
2. 標準化の開始: ステータスバーの「標準化」ボタンを押します。標準化ダイアログには、ポートプレートのサイズとUVモードが表示されます。ポートプレートを変更するには、新しいポートプレートをAgeraに配置し、「戻る」をクリックしてポートプレートの情報を更新します。

3. 「Black Glass」の読み取り: センサーポートにAgeraのブラックガラスを置き、「READ」ボタンを押します。

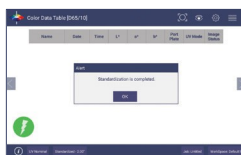


注: タイルの白い線をポートプレートの線に合わせて配置してください。

4. 「White Tile」の読み取り: 黒いガラスを取り外し、Ageraの白いタイルをポートに置きます。「READ」を押して続行します。



5. 標準化完了: 「Agera White Tile」を削除し、「OK」をクリックします。標準化が更新され、UVモードおよびポートプレートサイズとともに、下部のステータスバーに表示されます。



注: Ageraは複数のモードに対応しており、標準化後に有効なモード間で切り替えることができます。

C アプリケーション用のワークスペースを作成する

1. 新しいワークスペースの作成: 「ワークスペース」>「新しいワークスペース」を選択し、このワークスペースの「名前」を入力します。



ワークスペースアイコン

この新しいワークスペースとともに、新しいジョブが開かれます。



2. 新しいワークスペースの設定: ワークスペースとは、一連のサンプル測定値のための測定テンプレートです。この新しいワークスペースを開くと、以下の項目を変更および保存できます:
- 測定スケールを変更するには、「ワークスペース」>「カラースケール」を選択します。これにより、希望するカラースケール、インデックス、および差分が設定されます。
- 測定手順を変更するには、「ワークスペース」>「読み取りオプション」を選択します。
- 許容誤差を追加するには、「ワークスペース」>「基準と許容誤差」を選択します。
- ビュー画面を選択するには、[ワークスペース]>[ビュー]に移動します。各ビュー画面を設定するには、ツールバーの[ビューオプション]をクリックします。



ビューオプションアイコン

注: アクティブなワークスペース名は、右下隅のステータスバーに表示されます。

3. 新しいジョブの開始: ジョブとは、サンプルおよび標準物質の測定値を保存する場所です。本製品で新しいジョブを開始するには、ステータスバーの「Workspace」ボタンを押して、設定済みのワークスペースを新しいジョブに読み込みます。既存のジョブを開くには、ステータスバーの「JOB」ボタンを押してください。

ジョブアイコン



D サンプルの測定

1. サンプルの読み取り: 「測定値の読み取り」アイコンを使用して、サンプルを読み取ります。



「測定読み取り」アイコン

測定前にサンプルの画像をプレビューするには、「ワークスペース」>「読み取りオプション」>「画像ビューア」に移動します。「IMAGE VIEWER」にチェックを入れ、「APPLY」を押します。このオプションにチェックを入れると、各測定を行う前にカメラがサンプルを撮影します。画像を撮影せずにサンプルの領域を表示するだけにすることも、画像を撮影して測定データと一緒に保存することも可能です。

注: Ageraには、サンプルポートプレートの真下に内蔵された60度光沢計が搭載されており、ASTM D523に準拠した測定値を提供します。光沢値は、各サンプルおよび標準試料の測定ごとに自動的に測定されます。光沢値を表示するには、[ワークスペース]>[カラースケール]>[インデックス]から「光沢指数」を選択してください。

2. データの出力: 右上隅にある「ジョブ」アイコンを選択します。「ジョブ」では、データの保存、プリンターへの送信、ネットワーク経由でのメール送信、またはフラッシュドライブにエクスポートできます。

本装置の使用に関するより詳細な手順については、『Agera® ユーザーマニュアル』をご参照ください。

お使いの装置のメンテナンス、操作、修理に関する詳細については、support.hunterlab.com をご覧ください。

